

2013年7月11日

推薦入学試験B日程(11月11日) S判定
国語を受験された皆様へ

神戸松蔭女子学院大学

2013年度推薦入学試験B日程およびS判定における採点ミスに関するお知らせとお詫び

2012年11月11日(日)に実施いたしました本学の2013年度推薦入学試験B日程の入試問題の教科「国語」において、採点ミスがあることが判明いたしました。
受験生の皆様には、そのミスの内容と対応措置等を下記のとおりご報告申し上げるとともに、多大なご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。また、今後は再発防止に努め、入試実行に万全を期す所存でございます。

記

1. 入試実施日 : 2012年11月11日(日) 2時間目
2. 教科・科目名 : 「国語」
3. 当該科目受験者数 : B日程での国語受験者 166人
S判定での国語受験者 95人
4. 当該科目の必選区分 : 【必修】 英語学科、日本語日本文化学科、総合文芸学科、
子ども発達学科、ファッション・ハウジングデザイン学科
【選択】 心理学科、
生活学科都市生活専攻、生活学科食物栄養専攻
5. ミスの箇所・内容 : 問題冊子B-8ページ
大問□ 問十一(解答番号□17)
筆者は、現代の日本社会の「コミュニケーション不全」は何が要因だと言っているか、次の中から適当なものを二つ選べ。

伝統的な上下関係がまだ強く残っていて、社会的な人間関係の中で利害の対立が生じやすい状況があるため。
医者や教師の権威を与えられているかのような話し方が、今日の患者や親に対して、ほとんど通用しなくなったため。
買い手と売り手の関係が硬直化してしまって、親しい友人間で会話の様式が決まりきった形になりがちになったため。
人間関係の中で、自己の全能感と過大な期待感を持たせるような会話や接し方がマニュアル化してきているため。
相手を無条件に従わせようとする権威的態度が、見下されているという意識を生じさせてしまうため。

正答は と ですが、誤って と を正答として採点をしておりました。

6. 対応措置 : 当該問題について、再度採点をやり直し合否判定をおこないました。

本件につきましてご不明の点がございましたら、入試・広報課までお問い合わせください。

以上